



■ 民宿旅館 二宮荘

(にのみやそう)

心と体が喜ぶヘルシーランチ

自家農園で育てたお米と野菜をたっぷり使った創作料理、米粉スイーツなど、体に優しい「ランチメニュー」(1,300円)が味わえる。彩り豊かな料理は、食育コーディネーターの女将のセンスが光るものばかり!



■ 大崎市鳴子温泉字馬場136 ☎0229-83-3778
 時 11:00~14:00 ※前日まで要予約 休 木曜
 P 10台 HP <http://ninomiyasou.com/>

■ ゆの駅しんとろ

(ゆのえきしんとろ)

湯あがりに、ちょっと寄り道

地元で採れた野菜や、鳴子温泉のお土産などを取り扱う農産物直売所。併設する食堂では、昔ながらの中華そば「しょうゆラーメン」(680円)や、数量限定で「ゆきむすびのおにぎり」(160円)などを提供している。

■ 大崎市鳴子温泉字星沼18-9 ☎0229-25-3144
 時 9:30~16:30(12~3月は10:00~16:00) ※食堂は11:00~14:00 休 メンテナンス時休業あり
 P あり HP <http://spa.shintoro.com/>



■ 大正浪漫

和モダンな空間でランチタイム

老舗旅館をリノベーションしたカフェレストラン。粉雪のような食感が味わえる「かき氷」のほか、ランチメニューも人気。「ハンバーグ定食」(1,650円)はあっさりとした味わいで、野菜もたっぷり摂れるヘルシー系。

■ 大崎市鳴子温泉字新屋敷126 ☎0229-25-8473 時 10:00~17:00(11~3月は10:00~16:00) 休 4月~10月木曜、11月~3月木・金曜 ※臨時休業あり P なし



■ 佐藤漆工房

(さとううるしこうぼう)

新作の竹製ストローに注目!

職人が丁寧に制作した、安心して使える鳴子漆器が並ぶ「ギャラリー漆木舎(うるしごや)」を併設。見学はもちろん、要予約で食事や蒔絵体験も楽しめる。竹と天然漆で仕上げた「和・すとろ」は、柔らかな口当たりと手触り。

■ 大崎市鳴子温泉字南原200 ☎0229-87-2361
 時 9:00~16:00 ※電話にて要確認 休 不定休
 P 6台 HP <http://urushigoya.com/>



■ レストラン鳴子の風

(なるこのかぜ)

目の前は芝生が広がるキャンプ場

鬼首特産のそば粉を使った「天ざる 鬼そば」(1,100円)や、ごはんで「鳴子ダム」のアーチ式コンクリートダムを表現した「ダムカレー」(950円)などが人気。地発泡酒の飲み比べもおすすめ。

■ 大崎市鳴子温泉鬼首字本宮原23-89 ☎0229-86-2288
 時 10:00~14:00 休 火曜 ※11月上旬~4月下旬は冬期休業
 P 30台 HP <https://www.onikoube.com/fukiage/restaurant>



■ 鳴子峡

(なるこきょう)

雄大な景色と、鮮やかな四季の美しさに彩られる大峡谷

高さ100mほどの断崖絶壁が約2.6kmに渡って続く。見晴らし台からは新緑や紅葉の美しい峡谷美が楽しめる。紅葉の見頃は10月下旬から11月上旬。周囲の木々が赤や黄色で彩られる。鳴子峡遊歩道は、鳴子峡レストハウスから回顧橋までの区間と、鳴子側入口(大谷橋)から約230mまでの区間。(11月下旬~4月下旬は冬期閉鎖)

○鳴子峡レストハウス~回顧橋:片道約350m(折り返し) ■開放時間/9:00~16:00
 ○鳴子側入口(大谷橋)~片道約230m(折り返し) ■開放時間/9:00~16:00
 ○大深沢遊歩道 鳴子峡レストハウスを起点にして1周約2.2km徒歩約50分(冬期閉鎖)

■ 大崎市鳴子温泉字尿前地内 ☎0229-83-3441 (鳴子観光・旅館案内センター)



↑ レストラン鳴子の風はこちら方面。詳しくはP04のMAPを参照。

大崎市 エリアガイド



鳴子温泉 エリア

NARUKO ONSEN AREA

湯量と泉質が豊富な温泉地。環境省指定の「国民保養温泉地」でもある。選奨土木遺産に認定された「鳴子ダム」や伝統工芸品「鳴子こけし」「鳴子漆器」も有名。